

ロータリーに活力を— あなたの活力を

PUT LIFE INTO ROTARY- YOUR LIFE

1988～89年度 国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ロイス・アビー ● 第256地区ガバナー 樫内悌三郎
- 会長 — 杉野 奎司 ● 副会長 — 小林 英雄 ● 幹事 — 長谷川有美
- SAA — 榎本 勝、近藤 雄介 ● 例会日 — 毎週水曜日 12:30～
- 例会場 — 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局 — 三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477 田中久美子

(FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替ります)

- クラブ会報委員 — 伊藤 廣一、大谷 幸平、五十嵐昭一、松谷 昊吉、渋谷 正一



出席会員数	会員 70名中 46名
先々週出席率	94.12% (前年同期 89.06%)
今日のお花	バラ
ヴィジター	三条北より 羽賀一夫君、落合益夫君
先週のメイクアップ	1/20 吉田へ 渡辺喜彦君 1/23 三条南へ 古沢富雄君、加藤紋次郎君、五十嵐晋三君、 広瀬昌寿君、外山一郎君、渋谷正一君、 丸山金重君、渡辺宏策君、野村竹三郎君 1/24 三条北へ 岩井数央君、近藤雄介君、古沢富雄君、 熊倉昌平君、堀川政雄君、小林敬典君

会長挨拶 杉野会長

御挨拶申し上げます。

暖かい冬で大寒に入ってもピリットした寒さを感じません。従って心もピリットしません。

平成元年度の予算、政府案が決まりました。60兆4,142億円、日本人は語呂合わせが上手だと言われてます。大蔵省は「60兆で良い世に」と言っています。又、「ムナシナシイ世ニ」にならない様にと読んだ人もいます。

予算の中に関心を引くものがありますが、東京一極集中が進み、地方分散とか遷都、分都、展都と議論のされる中に大深度地下開発調査費が目にとまりました。

建設省は地下弾丸道路構想、通産省は大深度地下都市構想、郵政省は大深度地下開発構想。

地下70m以上を地権や買収費のいらぬ新しい東京の開発構想が現実に着手され様としております。首都は東京から動きそうもありません。

皆さん楽しみは一杯あります、長生きをして下さい。以上で挨拶を終わります。

幹事報告 長谷川幹事

・村上RCより 創立30周年記念式典の御案内がとどいております。

とき 平成元年10月22日(日) ところ 村上市民会館(瀬波温泉)

※正式な御案内は後日詳しくお知らせいたします。

・ポール・ハリス伝記刊行委員会より邦訳版「ポール・ハリス偉大なる奉仕の先覚者」のご案内がとどいております。 1冊 6,200円

・例会変更のお知らせ

見附RC——1月26日(木)——新年親睦例会 PM6:30~ 於 スタジオ101

2月のお祝い

- | | | | |
|----------|-------------|------------|------------|
| ◎会員誕生祝 | 4日 荻根沢隆雄君 | 5日 川又嘉瑞範君 | 10日 藤田説量君 |
| | 10日 高森昭光君 | 17日 加藤紋次郎君 | 23日 滝沢富雄君 |
| | 26日 斎藤弘文君 | 26日 伊藤廣一君 | |
| ◎夫人誕生祝 | 7日 藤田 智さん | 9日 藤田幸子さん | 15日 渡辺イツさん |
| | 15日 上木キヨ江さん | | |
| ◎結婚記念日 | 22日 榎木 勝君 | 25日 斎藤弘文君 | 27日 渋谷正一君 |
| ◎100%出席賞 | 5年 大谷幸平君 | 2年 榎本 勝君 | |

ニコニコボックス ¥11,000

落合益夫君(三条北RC)

今年もお世話になりますので、よろしくお祈りします。

羽賀一夫君(三条北RC)

食前体操で三条ロータリーさんの若さには負けました。北ロータリーはついていけないみたいです。

佐藤君 長期出張で欠席が多く、大変御迷惑をかけております。

松谷君 BOXに協力して。

吉田君 この度、会社の命により、1月1日付で新潟に転勤となりました。長くもあり、短くもあった6年間、大変お世話になりました。なお、三条より通勤いたしますので今まで通り三条もんですのでよろしく。

加藤君 昨日三条経営研究会で鈴木会頭(会員)さんよりインド視察記をお話し頂き、大変参考になり、有難うございました。

吉田晃会員の御栄転を祝して。

卓話 インド旅行

川又嘉瑞範会員

出発からトラブルに合い、着くはずのない香港へまず飛行機は到着

続いてボンベイには夜中の1時に着き、それから本来飛行機で行くべき目的地までバスで一路デカン高原をひたはしると云う何とも大変な出だしでありました。

インドでは工場を3ヶ所廻りました。1つは作業工具の工場です。始めはドイツのメーカーとの合弁会社だったのですが、現在ではインド人のみで経営されています。見学してみても、作業性、生産効率が悪く、商品もとても日本にもってこられる様なものではありません。将来倒産するのではないかと直感的に感じられるような所でした。

次は日本のホンダの合弁会社です。日本から4人の技術者が来ています。インドでは多品種生産では無理と云う事でここでは100ccのオートバイ一種のみを作っています。一昨年までは赤字だったそうです。この会社でも悩みは人間関係で、インドでは多段階の身分制度があるので、チームワークを取らせる事がとてもむずかしいのだそうです。

もう一つはアメリカのコンプレッサーの会社です。社員も大学出を使い、設備もすばらしいものでした。やり方1つでインドでもこの様な会社も出来るのだなあと思いました。

インドには交通ルールは無いに等しいと云う感じです。人も、車も、バイクも、動物も、くそ、も一緒です。

日本では「ふんじん」と云うと粉ですが、インドではまさしく「糞塵」であります。車を通ったあとではこれがもうもうと舞います。

道路ではよく車が横転しています。それは事故と云うよりも、あまりに車そのものが古いために車輪がはずれたり、車そのものが本来もっているはずの動く、走る、と云う事が出来なくなって立ち往生したり、ひっくりかえったりしているのだそうです。とにかく乏しい国だなと感じました。

さて、いろいろな宗教遺跡を見学しましたが、その中でもタージマハールはすばらしい

ものでした。これは王妃のお墓です。死ぬ前に王様に自分が死んだら世界一の墓を建ててほしいと云われ、死後総力をあげて作ったものだそうです。いつの時代でも、どこの国でも男は女に弱いものですね。

1日6人でゴルフをいたしました。OBを出すとキャディはコブラが出ると云ってボールをとらせません。皆で50ヶばかり使ったのでしょうか。コースには野性のインコや孔雀がたくさんいて楽しく過ごしました。

食べものが合わないのか、1人倒れ、2人倒れ、無事だったのは3人位のものだったのでしょうか。

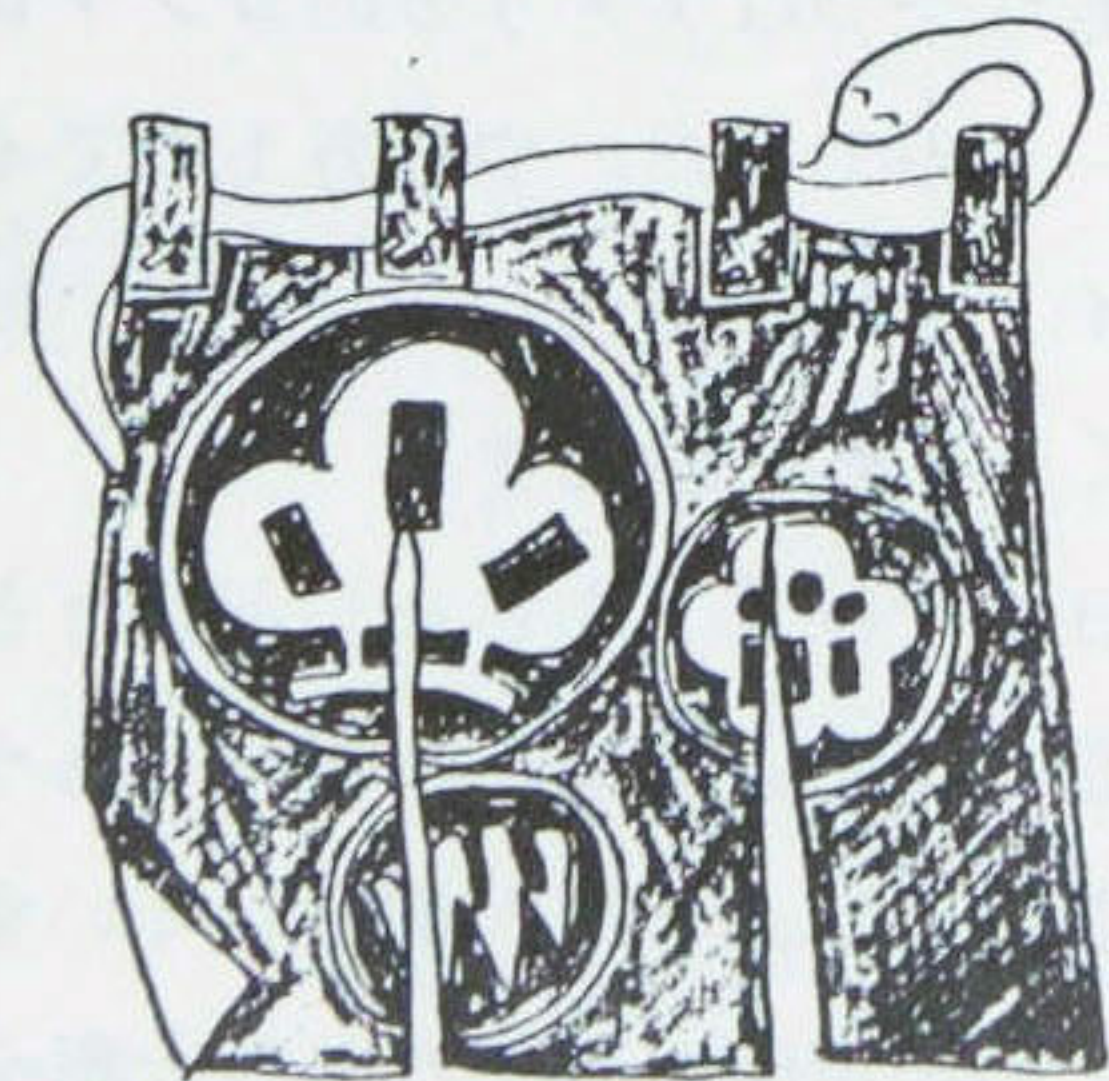
しかし皆さんの心の中には、それぞれインドの思い出が深く刻まれたことでしょう。

キーワード

◎ジオトピア構想

ジオロジー（地質学）とユートピアの合成語。1年前位から未来都市空間の新たな領域として「地下空間」が脚光を浴び始めており、官民あげて様々な開発計画が提出されている。ジオトピア構想もそのひとつで大深度地下を、地上では不可能な実験研究を行う空間として活用しようとするものです。

無重力状態をつくり出す実験施設は、その中でも注目されています。また通産省では地下に50m以上のドーム状の空間を建設し、発電所やガス貯蔵基地、熱水供給システムなどを設置する計画もある。ウォーターフロント開発など新しい都市開発構想が目白押しの中、より新鮮な響きをもつものとして今後更に注目をあつめるのがジオトピア構想に代表されるジオフロント開発ではないでしょうか。



次週例会 2月1日 新春懇親例会 PM6:30~ 於VIP

次々週例会 2月8日 卓話 佐藤信次郎会員、小林正義会員
